

稲作情報 No.4

大麦赤かび病注意・大麦成熟期見込み

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成：福井県農業試験場、福井米戦略課、J A 福井県中央会]

【概況】

今年の麦の出穂は、平年並み～やや早くなりました。成熟期もやや早くなる見込みですが、来週の気温は高い予報のため、成熟期がさらに早まることも予想されます。

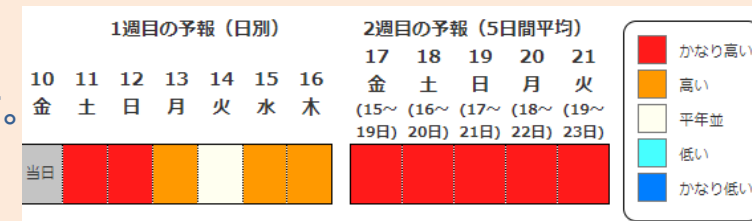
4月第5半旬にかけて、赤かび病が発生しやすい天候となりました。

[大麦の成熟期予測]

- ・平坦部の早いところで5月22日頃、盛期は5月25日頃の見込みです。
- ・奥越地区は盛期は6月1日頃の見込みです。

[大麦収穫に関する注意事項]

- ・赤かび病の発生がないか注意しましょう
- ・圃場内の雑草（特にカラスノエンドウ）を抜き取りましょう
- ・水分を確認して適期に収穫しましょう。



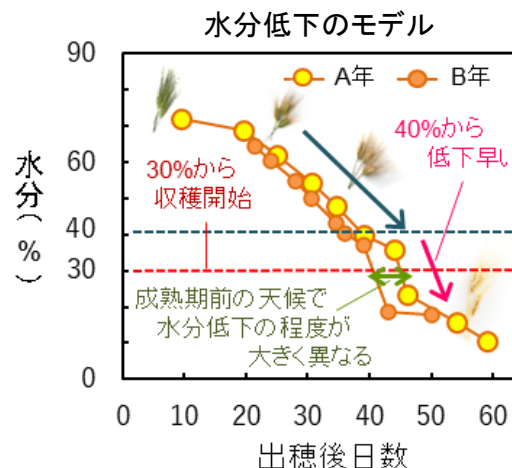
北陸地方の2週間気温予報 気象庁(5/10時点)

○成熟期の目安

出穂期から毎日の平均気温を積算して750℃になる頃



○収穫に関する注意事項



- ・水分40%から低下が早くなる
- ・雨で一時的に水分が高まっても晴れるとすぐに戻る
- ・成熟期前に晴れが続くと急速に低下する
- ・赤かび病やカラスノエンドウの有無を確認する
- ・水分30%から刈り始める
- ・収穫後は遅くとも4時間以内に通風乾燥する
- ・収穫始めなど水分が高いときは乾燥開始を早める

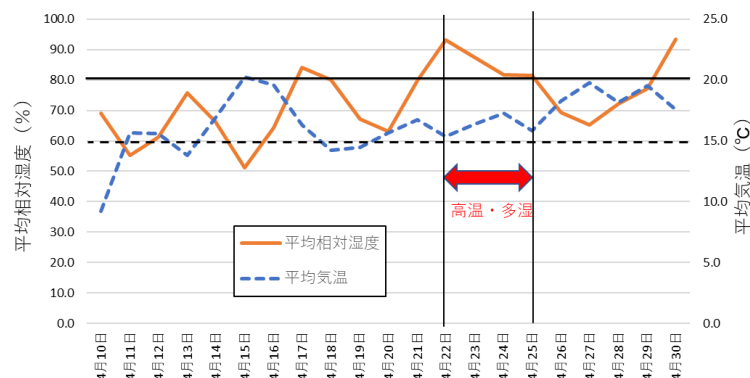
稲作情報 No.4

大麦赤かび病注意・大麦成熟期見込み

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成：福井県農業試験場、福井米戦略課、J A 福井県中央会]

○赤かび病

- ・本年の4月22日～25日は、高温(平均気温15℃以上)、多湿(平均相対湿度80%以上)の日が続きました。
- ・この期間が、麦の開花期(出穂後5日～10日後)にあたると、赤かび病が発生しやすくなります。
- ・出穂が遅れた圃場では、発生リスクが高くなっていますので、圃場を巡回する際には、発生の有無を注意深く確認してください。
- ・発生を確認した際には、お近くのJAもしくは、農林総合事務所にご相談ください。



(写真)大麦の赤かび病

○カラスノエンドウ

- ・本年は積雪期間が短かったためか、雑草が多く繁茂している圃場が多く見受けられます。
- ・特に、カラスノエンドウは、収穫の際、コンバインに絡みつき、収穫の妨げになる他、カラスノエンドウの種子が麦の子実に入混入することで、異物混入となり、実需者からのクレームの対象になります。
- ・カラスノエンドウの種子は、選別することが困難であるため、収穫時に混入しないよう大麦収穫前に抜き取っておきましょう



(写真)カラスノエンドウ

メールマガジンe 農メールの登録は[こちら](#)

稲作情報や気象災害等の緊急対策を配信します



既に登録されている方は手続き不要です